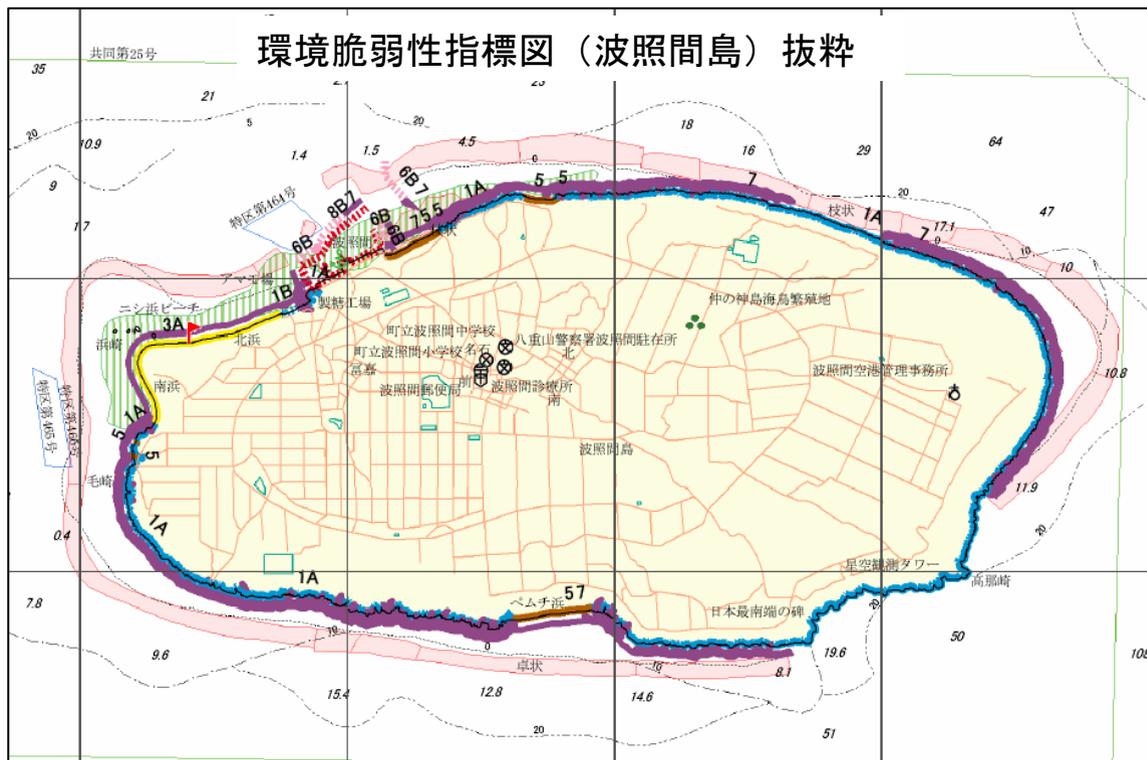


問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報監理課長 加藤弘紀
TEL 098-867-0118 (内線2510)

平成19年6月29日
第十一管区海上保安本部

沖縄県全ての海岸線情報をHPに掲載 ～油流出による環境被害に備える環境脆弱性指標図を更新～

インターネットで提供中の県内環境脆弱性指標図に、これまで未掲載だった宮古島、石垣島などの海岸線情報を追加します。本図により海岸の種類、珊瑚礁、干潟、藻場の分布などを知ることができますので、海岸の油防除作業に活用されるほか、漁業、マリンレジャーの参考資料としてもご利用ください。



インターネットの掲載場所: 第十一管区ホームページ【<http://www.kaiho.mlit.go.jp/11kanku>】の>十一管ガイド>海洋情報

環境脆弱性指標図の掲載情報

海岸線の環境脆弱性指標(注1)、珊瑚礁、藻場、湿地、マングローブ、油回収装置、オイルフェンス、油保管施設、漁業権区域、港湾、マリーナ、取水施設など。

※これらの情報は、海上保安庁海洋情報部がインターネットで提供しているCeis Net(注2)のデータベースを利用しています。

ESI(環境脆弱性指標)数値と海岸線種類

-  1A 開放性海域岩海岸
-  1B 開放性海域人工構造物
-  2 開放性海域波食性台状地
-  3A 細粒から中粒の砂浜
-  3B 砂の急斜面
-  4 粗い粒の砂浜
-  5 砂れき混合浜
-  6A れき浜
-  6B 捨て石状海岸
-  7 開放性海域干出平坦地
-  8A 遮蔽性海域の磯と急斜面
-  8B 遮蔽性海域人工構造物
-  9A 遮蔽性海域干出平坦地
-  9B 植生土手
-  10A 塩水性及び半塩水性草性湿地
-  10B 淡水性草性湿地
-  10C 淡水性草木性湿地
-  10D 低木性湿地

主なシンボルマーク一覧

	ウミガメ産卵地		鳥類		油保管施設		湿地
	海獣類生息地		オイルフェンス 展張艇		資機材等保有状況		藻場分布
	港湾		グラブ船等		廃油処理施設		ラムサール条約 登録湿地
	港則法適用港		作業船		係留施設		干潟分布
	漁港		タグボート		海上保安庁事務所等		国立公園
	発電所		タンクローリー車		海岸利用産業施設		国立公園
	取水口		油回収船		天然記念物		珊瑚礁分布
	マリーナ		油回収装置		名勝		マングローブ
	海水浴場		高粘度油回収 ネット		史跡		共同漁業権
	潮干狩り場		強力吸引車		港湾区域、港則法区域、漁港区域、港則法航路、海交法航路、米軍演習区域		区画漁業権
	海中公園		集油船			定置漁業権	

(注1)環境脆弱性指標(ESI)について

海岸の油防除作業のため海岸線を開放性・遮蔽性、岩場・砂浜、干潟、植生などにより大きく10種類、砂や湿地などの種類による細分類を含めて、全部で18種類に分類し指標値を与えています。

(ESI:Environmental Sensitivity Index)

(注2)Ceis Netは電子地図上に沿岸海域環境保全情報(注3)を重ねて表示できる地理情報システムです。

(注3)大規模な油流出事故等が発生した場合、的確な対応をとるために必要な沿岸域の様々な情報(地理情報、自然情報、社会情報、防災情報など)を言います。この情報は、海上保安庁が保有する情報に加え、関係省庁・地方公共団体等の協力を得て収集し、データベースとして管理しています。